

～玉名市まちなかグランドデザイン～まちなか未来図 について

○～玉名市まちなかグランドデザイン～まちなか未来図 とは・・・

- 玉名駅周辺や玉名市役所旧庁舎跡地周辺は、公共施設や公共交通、住宅や商業施設、事業所などといった都市機能が集積するなど、市の中心部（まちなか）として市全体の暮らしや経済をけん引してきました。本市では、まちなかの活力と魅力を高め、市民が健康で笑顔あふれる良質な暮らしが実感できる「にぎわいのあるまちづくり」に様々な人たちを巻き込み、協力しながら、取り組んでいきます。そして、その効果を市全域に広げていきます。

これからまちづくりを推進するにあたり、その方向性を示す指針として作成したのが、

～玉名市まちなかグランドデザイン～ まちなか未来図

(以下、「まちなか未来図」という。)です。

(玉名市が目指すまちづくりのイメージ)

● 官民連携によるまちづくり

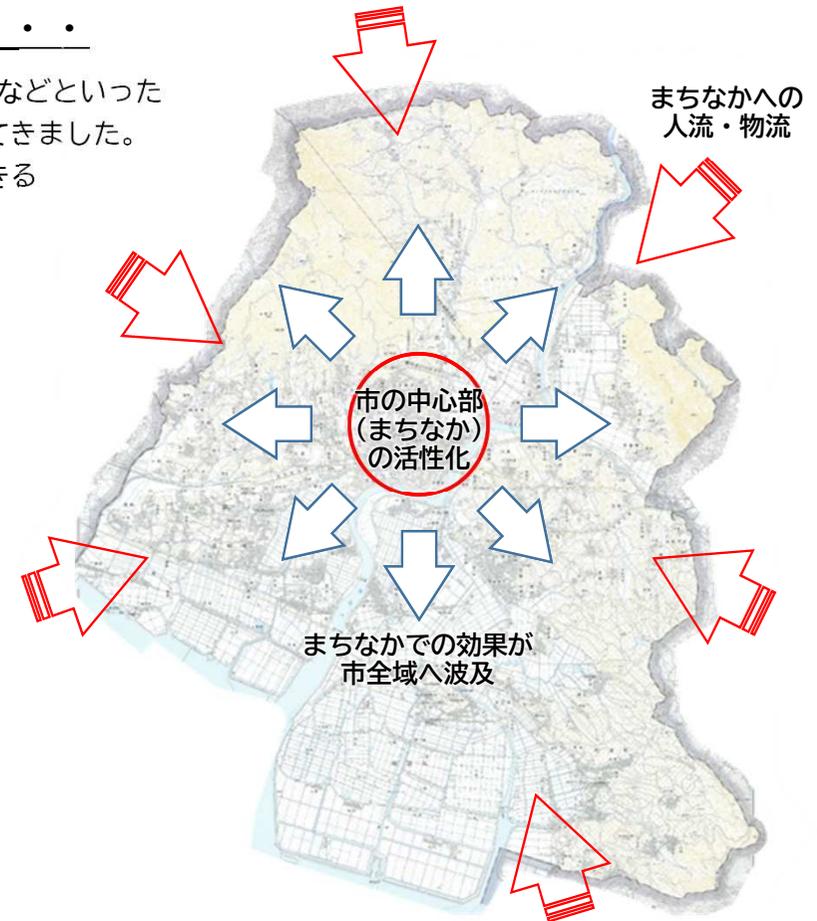
まちづくりの「あいことば」

みんなで作ろう！幸せ実感、大好き玉名

- ⇒市民・事業者・行政などが、みんなで一緒に一丸となってまちづくりを推進します。玉名のすばらしさ・玉名らしさを活かしたまちづくりを、「共に考え、共に動き、共に創り出す、幸せ実感するまちづくり」をスローガンに取り組んでいきます。

● 計画から実行へ

- ⇒計画策定の段階から市民と行政が一緒になって議論し、検討してきました。目指すべきまちなかの将来像実現のため、これまで共に活動してきた人々や市民の皆様と着実にまちづくりの活動を進めていきます。



○「まちなか未来図」を作成した経緯 (詳細は、まちなか未来図 P 5, 7)

【まちなかの課題】

- ・少子高齢化による人口減少
- ・若者の転出過多
- ・空き家、空き店舗の増加によるまちなかの空洞化など



まちなかの魅力やにぎわいが低下してきている。

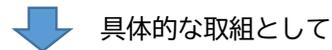


令和5年4月

玉名市まちなか未来プロジェクト 発足

(プロジェクトの理念)

まちなかの活力と魅力を高め、市民が健康で笑顔あふれる良質な暮らしが実感できる「にぎわいのあるまちづくり」に取り組む



令和5年度

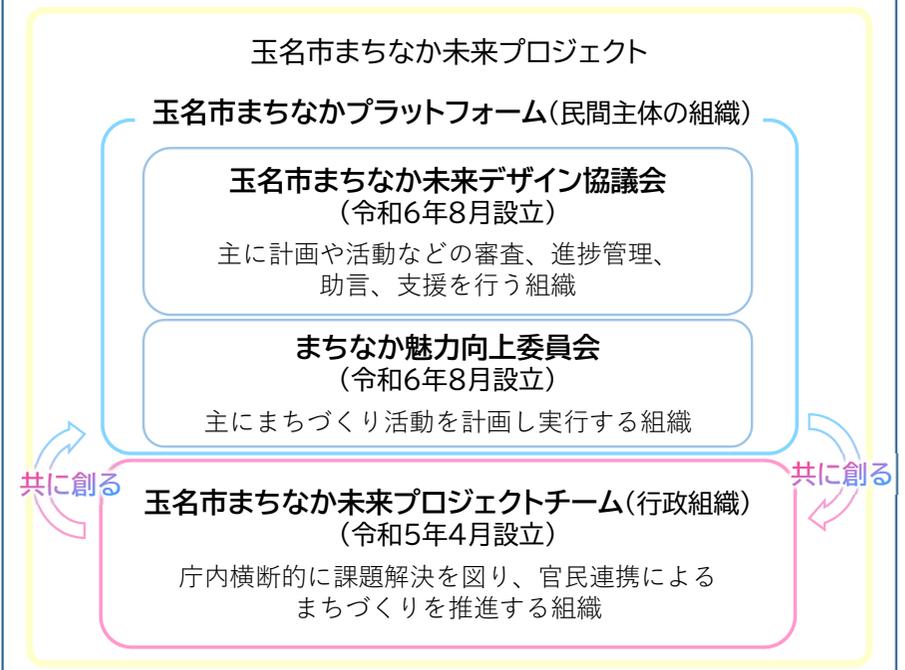
玉名市まちなかグランドデザイン(基本構想) の作成開始

今後玉名市では、「共に考え、共に動き、共に創り出す」をスローガンに、官民連携によるまちづくりを進めていきたいと考えています。

そのためには、まちに関わるすべての人たちを巻き込み、みんなで一緒になって活動し続けるための目標(指針)が必要です。そこで、「まちなかの将来像」を市民の皆様と一緒に描き、それを基本構想として取りまとめようと考えました。

【プロジェクトの推進体制】

※詳しくはまちなか未来図P9「玉名市まちなか未来プロジェクトの組織概要」をご覧ください。



○「まちなか未来図」を作成した経緯

①令和5年度に、官民連携によるランドデザイン作成に向け、ランドデザインの基となる、**まちなかランドデザイン原案（たたき台）**を市内20課と有志により構成したプロジェクトチームが作り上げました。



▲まちなかランドデザイン原案（たたき台）

②令和6年度に民間主体の組織「玉名市まちなか未来デザイン協議会」と「まちなか魅力向上委員会」を設立。公募により集まった**まちなか魅力向上委員会の方々と一緒に、これからのまちづくりについて何度も議論を重ね、実際の活動として社会実験を行ったりしました。**（詳細は、まちなか未来図P8、34～36）



③まちなか魅力向上委員会は、様々な活動や市民拡大ワークショップ・まちなか出前ワークショップなどで寄せられた市民からの意見を踏まえ、**ランドデザインについての提案書を作成しました。**この提案書を玉名市まちなか未来デザイン協議会で審議し、まちなか未来図に反映しました。



▲まちなかランドデザイン（仮称）への提案

④このような経過を経て作成した「～玉名市まちなかランドデザイン～まちなか未来図」（案）について広く市民の皆様から意見をお伺いするため、この度令和7年2月10日から3月3日まで**パブリックコメント**を実施します。

令和6年度のまちなか魅力向上委員会の活動

- ・委員会会議（班会議を含む） 16回
- ・プロジェクトチームとの合同会議 1回
- ・コアメンバー会議 8回
- ・プロジェクト事務局との合同会議 1回
- ・社会実験 1回
- その他ワークショップの開催・参加など

※現在も来年度以降の取組に向けて鋭意活動中。

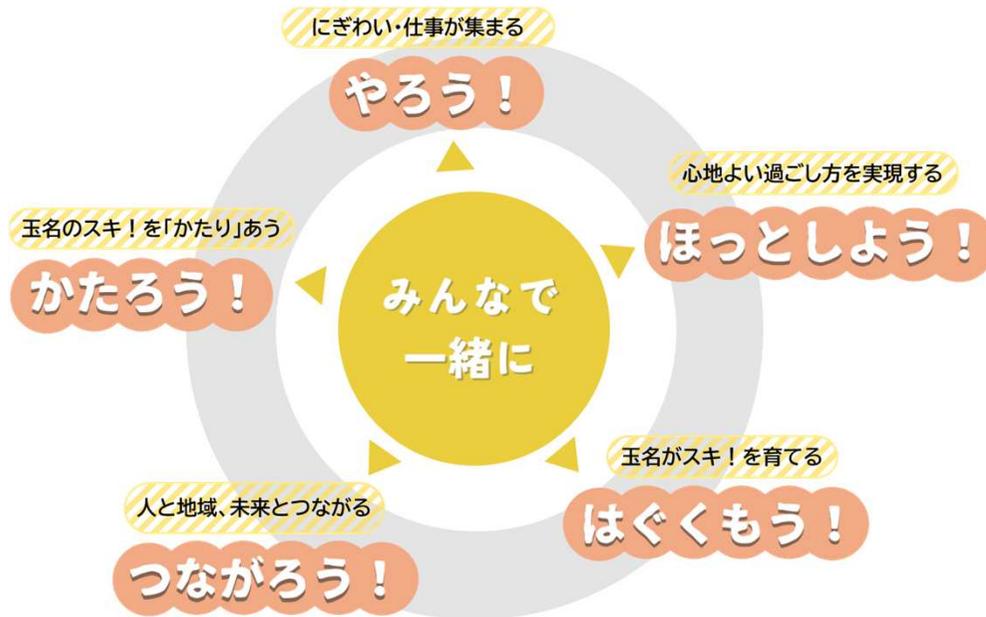
○「まちなか未来図」策定までのスケジュール



○「まちなか未来図」の概要

- ① 「幸せ実感」を実現するための5つのコンセプトを
「やろう!」「つながろう!」「かたろう!」
「ほっとしよう!」「はぐくもう!」

としました。(詳細は、まちなか未来図P13,14)



一人ひとりがやりたいことにチャレンジできる環境、誰もが暮らしやすさを感じる生活環境、玉名が好き!と自慢したくなるようなまちなかの魅力、一緒に行動したり互いに学び合い・育み合うことができる仲間、人や地域とのつながりなどを創り出し、それらを次の世代につなげていきます。

- ② まちなかを6つのエリア(玉名駅、駅通り、高瀬・繁根木、温泉、文教、新玉名駅)に分け、それぞれのエリアの特色や課題点、ポテンシャルを整理し、これから創っていくエリアのイメージを描きました。
(詳細は、まちなか未来図P15～)



○「まちなか未来図」の概要

③ まちなかにある**主要な3つの公有地**（旧庁舎跡地、中央病院跡地、商業施設跡地）について、**拠点として整備する際のそれぞれのビジョン**（イメージ）と利活用する際に**中心となる行政機能**を取りまとめました。

（詳細は、まちなか未来図 P 32）

第6章 まちなかの公有地利活用

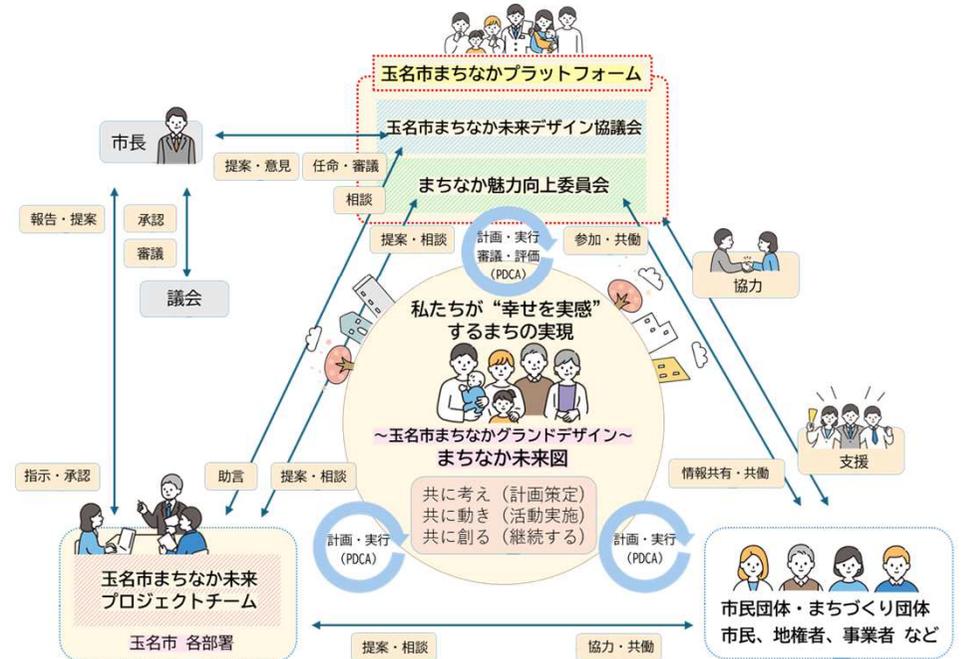
公有地利活用の方針

まちなかの主要な公有地(旧庁舎跡地・中央病院跡地・商業施設跡地)については、それぞれのビジョンに基づき、一貫性のある取組を行います。また、それぞれの公有地については、点として捉えるのではなく、周辺との緊密なつながりの中で果たすべき役割を効果的に発揮する拠点としてマネジメントを行います。活用にあたっては、民間事業者等との連携による持続可能な創造的な事業手法についても積極的に検討します。



④ まちなか未来図の実現に向け、玉名市まちなか未来デザイン協議会、まちなか魅力向上委員会、市民や事業者など民間の皆様、行政などが「**共に考え、共に動き、共に創り出す**」の考えのもと、**官と民の垣根を超えた連携を図りながら、様々な取組の計画・実行・評価・改善を進めます。**

（詳細は、まちなか未来図 P 33）



○今後の取組

● 玉名市アクションプログラム（仮称）の策定

「まちなか未来図」に描いたまちなかの将来像実現に向けた詳細な実行計画として、今後行う施策・取組について、“誰が” “いつ頃までに” “何を行う” などといった具体的な施策・取組やそれを行う上での役割分担、事業の優先順位などを示す実行計画。

アクションプログラムの策定に合わせて各施策・取組についての精査を行い、個別計画策定に向けた準備を行います。また、事業スタートの際に活用を検討する国・県の補助事業採択に向けた取組をスタートします。

● まちなかの公有地利活用についての具体的な検討

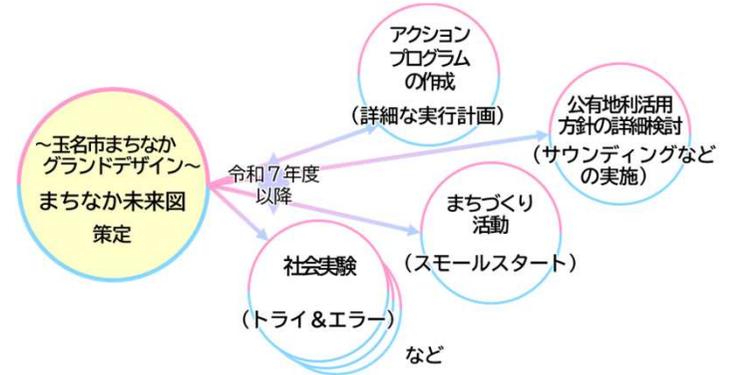
現在プロジェクトチームの中で活動している「跡地活用分科会」を加速し、各跡地の利活用方針について詳細な検討を行います。また、民間活力を活用するための試みとして、サウンディングやトライアルサウンディングを行い、市場性や経済合理性の検討や併せて行います。

● まちなか魅力向上委員会と連携した取組

現在まちなか魅力向上委員会では、「まちなか未来図」を市内外の方に浸透すべく、その周知方法についての検討や今後のまちづくり活動に向けた検討を行っています。また、まちなか魅力向上委員会が今後、自走し、継続して活動していく組織となるために必要なことや会としての在り方など、今後の活動に向けた具体的な協議を重ねています。このような動きに行政も連動し、一緒にまちづくりを進めていきます。

● 現在行っている・これから取り組むまちづくり活動の継続・促進

現在玉名市では、地方創生に向けた事業者の方々との取組や高校性とコラボした企画など様々な取組を行っています。また、市内各所には玉名市や各地域をより良くするために活動を行っている団体や市民の方がたくさんおられます。これらの活動と情報の共有化や協力・連携を図りながら共に創り出すまちづくりを進めます。



みんなが笑顔で
幸せ実感、大好き玉名



▲まちなか未来図で示すロードマップ。(P34)
アクションプログラムでは、どのような施策を、誰が、いつ頃までに行うかなどをより詳細に示し、本計画に基づき適切な予算措置等を行い事業展開していきます。